

研究機関名：仙台医療センター

<p>受付番号：</p>
<p><b>【研究課題名】</b> 独自の点滴管理方法を導入することによる自己抜去発生件数と拘束使用件数の変化</p>
<p><b>【研究期間】</b> 西暦 2021 年（倫理委員会承認後） ～ 2022 年 3 月</p>
<p><b>【研究の対象】</b> 対象期間：2018 年 7 月～2021 年 6 月 点滴自己抜去のあった患者、点滴自己抜去予防のために拘束を使用していた患者</p>
<p><b>【研究の目的・方法】</b> ※試料・情報の利用目的や利用方法も分かるように記載すること。 ※試料・情報の管理について責任を有するものの氏名または名称を記載すること。</p> <p>研究目的：独自の点滴保護方法を導入したことによる、ライン自己抜去件数と拘束使用件数を調査しその有効性を明らかにする。 研究方法：点滴静脈内注射の抜去件数は医療安全のレポート件数を集計する。点滴抜去予防で拘束を使用していた件数は情報管理室より 10 階西病棟で拘束カンファレンスを実施した対象を挙げてもらい、その拘束内容について集計する。</p>
<p><b>【研究に用いる試料・情報の種類】</b> カルテより以下の情報を収集し研究に用いる。 ① 点滴ライン自己抜去の有無 ②拘束使用の有無</p>
<p><b>【外部への試料・情報の提供】</b> ※どのような方法で提供又は公表を行うのかが研究対象者等に分かるよう必要な範囲でその方法（記録媒体、郵送、電子的配信、インターネットに記載等）も含むこと。</p> <p>病院ホームページに研究趣旨の掲載を行う。</p>
<p><b>【試料・情報を利用する者の範囲】</b> ※当該研究を実施する全ての共同研究機関の名称及び研究責任者を記載する。（既存試料・情報の提供を行うものが含まれる場合は、当該者の氏名及び機関の名称も含む。）ただし、利用するものが多く、全ての列挙が困難な場合にはホームページ等にて掲示することにより代替可能。</p> <p>木村沙知、本城和枝、吉田真子、結城美香、松村朋香、佐藤奈緒子</p>
<p><b>【問い合わせ先】</b> 本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出ください。 また情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。</p> <p>仙台医療センター 消化器内科 10 階西病棟看護師 木村 沙知(代表研究者) 〒983-8520 仙台市宮城野区宮城野 2-11-12 TEL：022-293-1111 FAX：022-291-8114</p>